

13. 名張川とダム



1. 名張川と伊勢湾台風

名張の地図を見てみましょう。名張市内には、名張川、青蓮寺川、宇陀川が流れています。そして、町の中には水路があり、川のある景色が名張の特ちょうだといえます。名張で生まれたすい理小説家の江戸川乱歩も名張川のことを文にしています。

町の裏を大きな美しい川が流れているし、町の中にも大きな溝といってもよいような、すき通った水の小川が、町屋の軒に沿って流れている。京都の木屋町に、よく似た小川があったことを思い出す。町の往来に沿って流れる、きれいな小川は、実にのどかな物懐かしい風情のものである。

(江戸川乱歩『ふるさと発見記』より)



【→P12,15,42】

しかし、おだやかに流れる川も、昔は大雨がふると、たびたび水害を受けました。

名張地方の大きな水害

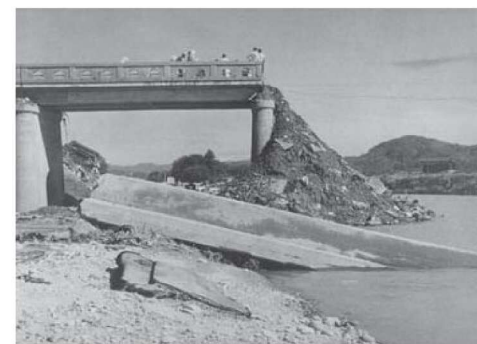
- 1870(明治3)年 名張のまちでは、ざしきの上まで水がきた。黒田橋近くで十数人がなくなった。
- 1917(大正6)年 名張のまちは湖のようになった。鍛冶町橋、新町橋、黒田橋、大屋戸橋が流れた。薦原の学校が流れた。
- 1949(昭和24)年 ヘスター台風。薦生橋など、多くの橋が流れた。
- 1959(昭和34)年 伊勢湾台風。市全体が大きなひ害を受けた。
- 1965(昭和40)年 台風24号。夏見、瀬古口、鍛冶町、柳原町、新町、黒田、広保(箕曲中村)などが水害を受けた。

1959(昭和34)年9月26日、朝からふり続いた雨は、夕方になってますますはげしくなり、みるみるうちに川の水がふえて、あちこちのていぼうがこわれ、川ぞいの家や田畑がおし流されました。

伊勢湾台風のひ害(名張市)

水害にあった人	15927人
死んだ人	11人
行方不明	1人
流れた家	102けん
全部こわれた家	180けん
半分こわれた家	525けん
ゆか上までつかった家	1434けん
ゆか下のつかった家	848けん

木津川砂防工事事務所調べ
(現 木津川上流河川事務所)



流された新町橋

伊勢湾台風のことを知っている地いきの人に、話を聞きました。



当時わたしは高校生でした。予定されていた体育祭もなくなり、しばらくは学校に行けない日が続きました。屋根までかぶったどろや、よごれて使えなくなった家ざい道具を、自えい隊の車に乗ってかた付けました。ぬれたたたみなどはとても重く、大変な作業が続きました。となり近所はもちろん、おうえんにかけつけたたくさんの人々と助け合い、元の生活を取りもどそうと一生けんめい命でした。



伊勢湾台風のひ (夏見橋付近)



旧町のひ害の様子

2. 水害をふせぐために

このような水害をふせぐために、市では、県や国と力を合わせ、橋をコンクリートのじょう夫なものにかけかえたり、こわれやすいいぼをコンクリートで固めたり、川底を深くして流れをよくしたりしたのです。

国は、青蓮寺川にダムをつくる計画を立て、1966（昭和41）年に工事を始めました。76億円の費用と5年の年月をかけて、1970（昭和45）年3月に完成しました。続いて、比奈知ダムも1972（昭和47）年に工事が始められ、1998（平成10）年に完成しました。

ダムは水害をふせぐほか、多くの目的をもってつくられ、名張市に住むわたしたちや、名張川下流の人々のために大きな役わりをはたしています。

ダムには、水害をふせぐ他、どのような目的があるのでしょうか。ダムの大きさや役わりを調べてみましょう。



3. 青蓮寺ダム



青蓮寺ダムのダム湖は「青蓮寺湖」とよばれています。四季を通じて美しい風景が見られ、春には満開のさくらの下で花見をする人もたくさん見られます。また、湖のほとには公園やテニスコートなどもあり、人々のいこいの場になっています。

2月には、青蓮寺湖のまわりをたすきをつないで走る名張青蓮寺湖駅伝競走大会が行われ、たくさんのチームが参加しています。

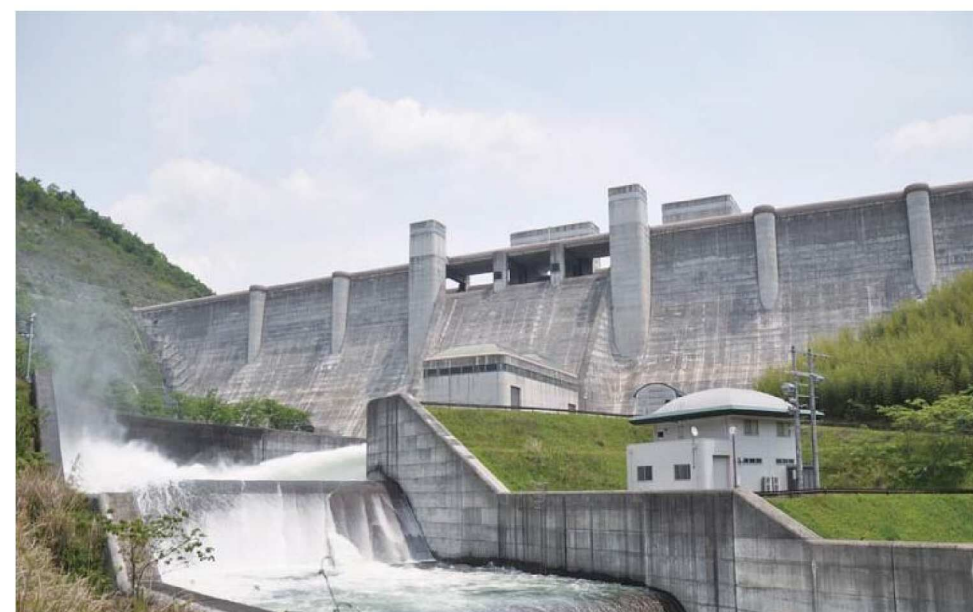


青蓮寺湖



青蓮寺湖駅伝競走大会

4. 比奈知ダム



比奈知ダムのダム湖は「ひなち湖」とよばれています。ひなち湖の周りには下流親水公園、ダムてん望広場などの広場や公園があり、自然を身近に感じることができます。

秋には、名張ひなち湖紅葉マラソン大会が開かれ、大人から子どもまで、多くの人々が、自分の体力にあったコースに参加して楽しんでいます。



下流親水公園



ひなち湖紅葉マラソン大会